

# NOKAIDAI NOW

## 第14回若年者ものづくり競技大会 電子回路組立て職種で見事敢闘賞を受賞した大阪府代表 上田 恭輔さん

2019年7月31日から福岡県で開催された若年者ものづくり競技大会電子回路組立て職種に大阪府代表として参加した電子情報技術科2年の上田 恭輔さんが見事敢闘賞を受賞しました。



### 若年者ものづくり競技大会とは

職業能力開発施設、工業高等学校等において、原則として、技能を習得中の企業等に就業していない20歳以下の若年者を対象に「若年者ものづくり競技大会」（以下「大会」という。）を開催し、これら若年者に目標を付与し、技能を向上させることにより若年者の就業促進を図り、併せて若年技能者の裾野の拡大を図るため毎年開催されています。

主催 厚生労働省及び中央職業能力開発協会

# 若年者ものづくり競技大会を経験して

簡単な問題や基本作業を何度もこなして体で覚えることの大切さを学びました。時間は限られているので、その中で優先順位をつけながら取り組む冷静さも大事ですね。

競技が始まって、問題を見た時は、これはいけるじゃないかなと思いました。練習した内容に近いプログラムが出題されていて、プログラムの構成も難しくありませんでした。

最初の1、2問目はスムーズに進みましたが、3問目で大きく躓いてしまいました。ディスプレイに指定された文字を表示して、そのディスプレイを傾けると文字がその方向へ流れるようにしなければならなかったのですが、何もしなくても文字が右に流れてしまって。その原因を突き止めて、修正するのに終盤までかかってしまい、4問目に取り組む時間を確保できませんでした。最後は、プログラムをハードに入れたり、それまでに取り組んだ内容を確認したり微調整することに時間を費やしましたが、ディスプレイに張られているシールを剥がし忘れるというイーजीミスをしてしまい減点されてしまいました。



今回準備するにあたって難しい問題ばかりといていたのですが、簡単な問題や基本作業を繰り返しこなして体で覚えることの大切さを学びました。練習時からディスプレイのシールを剥がすことも

意識しながら取り組んでいたら、イージーなミスは防げたと思います。また、4問目の方が取り組みやすかったことが後でわかって限られた時間の中で優先順位をつけながら取り組む冷静さが大切だったと痛感しました。

次年度この大会に取り組む後輩にはしっかりこの経験をつたえていきたいです。練習の進め方や本番での姿勢、準備、机の大きさ等環境的なことを含めて伝えたいです。